From-0歳プランを推進する　　美濃加茂市立下米田小学校

しもよねだ

No.２

学校の教育目標　かしこく（よく考える子）　あたたかく（思いやりのある子）　たくましく生きる子（強い体の子）　令和5年4月28日

学徳高き＜津田左右吉博士＞のふるさと下米田で、健やかに育つ子ら！

まるで“魔法”でした！

校　長　　佐藤　亜紀

新年度がスタートして１か月が経ちました。どの学級でも各々の係が決まり、自分が担う仕事の責任を果たそうとする前向きな姿が学校中に広がっています。

また、朝の会や音楽の授業では、歌声が響くようになりました。覚えた歌に振り付けを入れて体全体で音楽を表現する子どもたち、仲間の歌声に自分の声を重ね、厚みと深みのある合唱に仕上げていこうとする子どもたち等、活気ある学校生活が戻ってきました。

先日の授業参観、ＰＴＡ総会、学級懇談会についても様々な点でご協力をいただき、ありがとうございました。あいにくの天候でしたが、皆さんのご協力に感謝しております。

先日、やや遠方への出張に出掛けました。普段の出勤時でも運転することに緊張する私にとって、慣れない道を運転するということは、一大事！それでも何とか仕事を終え、再度運転して学校に帰ってきた時には、どっと（気）疲れが押し寄せていました。学校の駐車場に到着したのは、ちょうど掃除の時間でした。車を降り、荷物を持って北舎裏を歩いていると、トイレ掃除をしていた６年生が窓から私の姿を見て、「こんにちは～！」と声を掛けてくれました。にっこり微笑むその笑顔に向けて、私も「こんにちは！」と挨拶を返しました。

そして中庭に来ると、掃除場所から戻ってくる５年生数人に出会いました。どの子も「こんにちは！」「校長先生、こんにちは！」と挨拶をしてくれます。ここでも皆が笑顔。私も同じように「こんにちは！」

駐車場から玄関までのほんの僅かな距離でしたが、そこで出会った子どもたちと挨拶を交わした途端、信じられないぐらいに先ほどまでの運転の気疲れが一瞬にして吹き飛び、力が湧いてくるのを感じたのです。こんな経験は初めてでした。まるで“魔法”にかかったようでした。（職員室に入り、思わず他の職員に伝えました。）「挨拶を交わす」とは、単なる言葉を交わすだけでなく、心や気持ちを伴いながら互いを行き来するのだということを改めて感じる時間でした。

毎朝、校門前に立っていると、お子さんを車で送ってみえる保護者の方が、運転席から会釈をしてくださいます。お互い声は届かなくても、私にとって嬉しい瞬間です。ありがとうございます。